



◆ 早崎百合子 議員

公共施設のトイレの洋式化は

町長 個別施設の修繕計画で進める

令和2年には、中央公園多目的広場がねりんぴっくの開催会場となり、多数の方が総合体育館内のトイレを使用することとなる。

問 公共施設の多くは、災害発生時の指定避難所となっている。トイレの設置状況は。

答 町内の指定避難所となっている公共施設は42施設（養老町所管40施設）。

男性用トイレ	182器
うち洋式	82器
女性用トイレ	404器
うち洋式	127器
多目的洋式トイレ	26器



総合体育館

問 総合体育館は、スポーツ推進計画で町が目指す「1町民1スポーツのまち・養老」を具現化するための拠点施設である。男性用・女性用に洋式トイレの設置予定は。

答 優先的に整備できよう検討していきたい。

公共施設解体と新施設の整備は

町長 新施設建設は困難

旧多芸小学校は解体予定であるが、地域活動に多大な影響を与える。総合的に考慮すると何らかの対応が必要と考える。

問 公共施設の整備状況（解体）及び、その維持管理は。

答 養老町公共施設等総合管理計画に基づき、各施設の個別施設計画を順次策定している。今後は、その施設方針について行財政改革推進審議会にはかる。



旧多芸小校舎

問 多芸東部地区に公共施設の整備は。

答 町内施設の効率的・効果的なあり方、財政状況等を踏まえて検討したが困難である。

問 多芸東部地区では多目的な使用をしており、地域活動に影響がある。何らかの対応が必要であるが。

答 今後の地域活動については、町内の近接地区との連携や他の施設を活用するなど、事業展開を検討していただきたい。



◆ 清水由美子 議員

若い世代の人口減対策は

町長 次期総合戦略の策定に取り組む

人口推計を上回る若い世代の人口減少。将来にわたり住み続けられる町への施策を問う。

問 子供（14歳以下）の人口推計は。

答 国勢調査での国立社会保障・人口問題研究所の推計によると2025年は2547人、2035年は1858人、2045年は1374人である。

問 I・J・Uターンの実績は。

答 平成28年度から平成30年度までの子育て世帯住宅取得支援事業補助実績は62件、I・Jターン世帯は9件、Uターンは15件。

問 養老町の強みを生かした特色ある事業施策は。



養老町人口ビジョン・「絆を大切にすまちな養老」創生総合戦略

PRの充実と集客増の施策は

町長 観光交流人口拡大に努める

来年は、養老公園開園140年。町内学生の新発想も取り入れた観光町づくりや、観光での友好都市計画も必要であると考えている。

問 関ヶ原町など西濃地域での広域連携は。

答 「西濃2大サイダー飲み比べ！親子で体感！関ヶ原歴史体験と養老公園ファミリープラン」が販売されている。焼肉街道など、食肉産業や養老町特産ブランドをさらに発信する。

問 外国人観光客への対応は。

答 親孝行ふるさと会館で放映されて



養老公園 養老の滝

いるDVD画像の翻訳は、観光パンフレットの多言語表記と合わせ検討する。

問 今後、ライトアップの開催は。

答 町が事業主体での実施予定はない。「養老公園運営協議会」で地元の見解として要望していきたい。養老公園140周年記念事業として「まるごと肉まつり養老2020」を本年4月18、19日に開催予定。